就職活動応援特集

各社が誇る、現場で活躍する社員

ゼロから挑戦、現場で成長

日本原料
セールスエンジニアリング部
牛島　大志さん

■ゼロから水道へ

学生時代はプログラミングを学び、水道とは無縁でした。

現在入社して3年目、セールスエンジニアリング部に所属しています。仕事の内容は、全国の浄水場のろ過池のメンテナンス（ろ過材入替・ろ過材更生）工事の施工管理と、お客さまとの現場でのコミュニケーションを通じた、ろ過池の課題に対するソリューションの提案です。

■責任の大きさ

入社後、現職に配属されて更生工事の施工管理をしています。先輩の指導の下、OJTを通じて施工管理のノウハウを学びました。ろ過池に入る前には必ず足下を消毒するなど、水道水を扱う責任の大きさを強く感じています。しかし、責任が大きいからこそ学び続けることが大切だと思っています。

現場では、いろいろなことが起こります。そのような時は先輩や上司とすぐにコミュニケーションがとれて、具体的なアドバイスがもらえる風通しの良さが当社の特長です。このような経験の積み重ねが自身のスキルアップにつながっています。

■やりがいと成長

これまで全国の浄水場に赴き、長いものでは数カ月にわたり施工管理を行ってきました。事業体の方々や地元の協力会社、他工事の工事会社の皆さんと工程調整をしながら、完工に向けて日々の進捗と品質を管理します。もちろん苦労もありますが、それを支えているのは「やりがい」です。

工程表通りに無事故で現場を終えた時の達成感はかけがえのないものです。そして地域の方々の安全安心な水供給に役立てたことが、自分を成長させてくれていると思います。

昨年は、現場での仕事ぶりを評価していただき、社長賞をいただくこともできました。

■∞への挑戦

仕事に必要な資格を取得してきましたが、現在は土木施工管理技士に挑戦しています。資格取得に関するキャリアサポートや手当等も充実していますし、なにより先輩方の理解があるため、安心して学べる環境が整っています。

日本原料は1939年に創業し、ろ過材のパイオニアとして水道事業と共に歩んできました。私が担当する更生工事のろ過材の洗浄技術を磨き上げて生み出された浄水装置「モバイルシフォンタンク」は、国内外の自然災害で活用されています。

当社の採用コンセプトは「ゼロから∞（無限大）」です。私もゼロからスタートして、いつの日か、世界の水を担う会社に発展するために「ものづくり魂」を学んでいる途中です。ともに切磋琢磨していける皆さんのゼロからの挑戦をお待ちしています。

水を仕事にする魅力、やりがい

日本水工設計
東京支社　下水道二部　施設設計課
寺地　裕康さん

■「不可欠」が魅力に

最近は国の技術開発プロジェクトの採択を受けた雨天時にも安定した下水処理が行えるように、AIと膜処理とを組み合わせた技術の開発も担当しています。通常業務と同時進行なので忙しい日々ですが、研究成果を発表する場に出席できるなど充実しています。

下水道の仕事は、人が生活する上では不可欠なものです。特にこのコロナ禍でその必要性が改めてクローズアップされたのではないでしょうか。不可欠であるというのは、この仕事の一番の魅力です。

就職活動の間は、いろんな情報が入ってくると思いますが、どの仕事も大変さは変わらないと思います。自分が少しでも興味を持てる、自分の知識を活かせる、そういう点から就職活動を進めてみると良いと思います。やりがいを強く感じられるコンサルタントにも興味を持っていただけるとうれしいです。

不可欠ゆえのやりがいが

■「刺さる」提案を模索

今年で入社3年目です。下水処理場を対象に、その耐震化や老朽化に合わせた再構築の設計を担当しています。自治体の担当者が何を求めているのかを聞き出し、それを設計書に落とし込み、提案するまでが私の仕事です。いかに相手に「刺さる」提案ができるか、模索する毎日で、相手の意図を上手く汲み取れず悔しい思いをすることもありますが、自分の提案を受け入れてもらえた時の喜びは何物にも代えがたいものがあります。

今は関東を中心に5、6カ所の現場を担当しています。コロナ禍では、直接会うことが難しい場合も多いですが、メールや電話やオンライン会議を活用して積極的にコミュニケーションを図るようにしています。

■「やりがい」ある仕事

学部時代は土木を専攻していて、地盤や構造物が興味の対象でした。ただ大学院に進学する段になって、土木という固い分野で微生物を扱う環境系の特殊さに不思議な魅力を感じ、結局、分野をガラッと変えて環境系を専攻することになります。

就職活動では、学部時代の地盤や構造物の知識、院時代の微生物の知識の両方を活かせると考え、水コンサルに絞って活動していました。その中で日本水工設計に決めたのは、社員の方の姿です。当時、私の大学があった広島県内で豪雨に伴う大規模な土砂災害が発生したのですが、研究室を訪問してくださった社員の方が、被災現場の調査を担当していて、水コンサルの仕事の大変さとともに、やりがいを直に感じ、入社したいという気持ちが高まったのです。

広い視野がコンサルの魅力

NJS　東部支社東京総合事務所
アセットマネジメント2部 主任
高橋　真子さん

■入社からこれまで

学生時代は土木工学を専攻していました。入社後、自治体が下水道工事を行うために必要となる詳細情報を作成する、実施設計と呼ばれる業務の部門に配属となりました。主に長寿命化や更新計画に関する仕事を担当しました。

現有のインフラの状況を把握し、将来にわたり持続的に使っていくことが全国的に重要課題となっています。当社でも、これらの課題に対応した業務が増えており、私も4年目からは、入社後から関わってきた実施設計の仕事について「アセットマネジメント部」の中で担うことになりました。

■チームを大切に

アセットマネジメントの仕事は、自治体の現状、現場を把握することがとても大切です。自らの専門分野に限らず、土木、機械、電気など分野を超えたノウハウが求められます。

大切なのはチームワークです。当社には、専門分野の知識、ノウハウ、そして総合的な上下水道に関する業務経験を有する先輩方が数多くいます。そしてお客さまが必要とする情報を迅速かつ的確に提供することが求められます。社内インフラも充実し、プロジェクトにリモートで取り組む業務体制、業務を共有できる環境が整っています。コロナ禍への対応から、リモートワークや柔軟な働き方に対応できる環境整備も一層進みました。

■風通しの良い社風

キャリアサポートが充実していることも当社の特長です。私も今、技術士の資格に挑戦中です。費用、そして学習の面でも会社のバックアップが受けられます。資格を有する先輩が多数おり、安心して挑戦できる体制が整っています。

性別や年代の隔てない、風通しの良いコミュニケーションが当社の特長です。上司や先輩方との積極的な意見交換ができ、刺激を受けています。仕事だけでなく、普段の心配ごとを先輩社員がサポートする「チューター制度」が導入され、経験年数が短い社員の不安に寄り添う体制もできました。

■これからのコンサル

いろいろな街の特性や、多様な立場や業種に触れ、広い視野で仕事ができることがコンサルタントの面白さだと感じます。アセットマネジメントの業務の中で、民間企業と自治体との関係性の変化を肌で感じています。

私は公務員や他業界にも幅を広げて就職活動をしましたが、自分の性格に合うと感じて、当社への入社を決めました。就職活動中の皆さんには、多くの企業、人と会うことをおすすめしたいです。当社に興味のある方からのアクセスもぜひお待ちしています。

おかげさまで70周年
水と環境のConsulting＆Software
NJS
公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会会員
株式会社NJS
代表取締役社長　村上 雅亮
〒105-0023
東京都港区芝浦1-1-1　浜松町ビルディング14階
TEL：03-6324-4355　FAX：03-6324-4356
https://www.njs.co.jp/

想い描いています
豊かな水との暮らし
OEC オリジナル設計株式会社
代表取締役社長　菅　伸彦
本社：〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町30-13
人は財産